

## 2024年度活動概要

## 応用認知言語学研究会

「応用認知言語学研究会」は、2013 年度より九州・沖縄支部に発足した研究会です。本研究会は、言語学の分野で近年成果が著しい「認知言語学」の知見を、言語教育、特に英語教育の現場へどう生かすかを探るという観点から活動しています。

2024 年度の研究会では、2023 年度に引き続き認知言語学の基本的枠組みに関する知識を深めるために、Günter Radden & René Dirven 著の Cognitive English Grammar の（オンライン）輪読会を以下の通り行いました。

第 18 回 研究会（2024 年 5 月 18 日（土） 14 時～16 時）

Chapter 5 Grounding things: Reference（担当者：大橋 浩）

第 19 回 研究会（2024 年 7 月 20 日（土） 14 時～16 時）

Chapter 6 Quantifying things: Quantifiers（担当者：川瀬義清）

第 20 回 研究会（2024 年 11 月 30 日（土） 14 時～16 時）

Chapter 7 Qualifying things: Modifiers（担当者：長 加奈子）

第 21 回 研究会（2024 年 12 月 21 日（土） 14 時～16 時）

Chapter 7 Qualifying things: Modifiers (p. 159 から

第 22 回 研究会（2025 年 2 月 22 日（土） 14 時～16 時）

ハイフレックス開催（福岡大学 & オンライン）

Chapter 8 Situation types: Aspect（担当者：植田正暢）

2024 年度も Chapter ごとに担当者を決め、合計 5 回の研究会を実施しました。これまでオンラインのみでの開催でしたが、今年度最後の研究会である第 22 回はハイフレックスで開催しました。対面でのやり取りができたため、いつも以上に活発な議論ができ、今後、ハイフレックスでの開催を行っていきたいと考えています。